

昭島市教育委員会 殿

学校名 昭島市立田中小学校
校長名 土屋 正 登

令和 4 年度 特別支援教室の教育課程について（届）

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援教室による指導を下記のとおりお届けいたします。

記

1 特別支援教室の教育目標

児童一人一人の障害や能力に応じて、学校の教育目標〈よく考える子・思いやりのある子・たくましい子〉を常に意識した適切な教育・支援を行い、児童が学校や家庭、社会において主体的に自己の力を可能な限り発揮しながら、安定した生活を送ることができようにする。

- (1) 自立活動においては、自分の思いや考えを言葉にして伝え、友達の良さを認め合い共に行動することで、様々な活動に主体的に参加できるようにする。
- (2) 個々の課題に応じて、児童の認知特性を踏まえ、各教科の内容を取り入れながら、主体的に克服するために必要な力を高め、自信をもって学校生活を送ることができるようになる。

2 教育目標を達成するための基本方針

(1) 児童への指導

- ・一人一人の課題に応じた自立活動（小集団指導、個別指導）を行う。
- ・学校生活支援シートと個別指導計画を基に指導内容を考え、個に応じた教材・教具を工夫する。

(2) 在籍校、学級担任、保護者との連携

- ・児童の課題、学習目標について在籍学級担任、保護者と理解を共有し、互いに連携しながら児童を支援する。
- ・在籍学級で児童が困難に感じていることを観察・把握し、一人一人に応じた指導を行う。
- ・在籍学級担任や保護者と連携し、個々の児童の実態に応じた適切な進路指導を行う。

(3) 指導日数など

- ・指導日数・指導曜日・指導時間数は、在籍学級での適応状況を見て、管理職、在籍学級担任および保護者と協議し決める。

3 指導の重点

- ・自己の障害特性の理解を深め、自ら生活環境に主体的に働きかけ、より過ごしやすい生活環境を整えられるようにする。
- ・児童の不安を軽減すると共に、状況に応じて気持ちをコントロールして行動できるようにする。
- ・全ての指導や活動を通して、意思表示を促し、言葉、動作、表情などのコミュニケーションの能力を伸ばしながら、よりよい人間関係を作ることができるようになる。
- ・児童一人一人の感覚や認知特性を理解し、適切に対応できるようにする。
- ・基本的な作業や運動を通し、微細・粗大運動能力や感覚機能の向上を図ることができるようになる。

4 その他の配慮事項

- ・小集団指導や個別指導のグループ構成及び指導内容は、学年や児童の実態、児童同士の関係を考慮し決める。
- ・通室する児童が、安心して学習できるように、特別支援教室での活動を理解するための啓発活動を行う。
- ・特別支援教室専門員の役割を明確にし、特別支援教室の運営が円滑に進むようにする。
- ・特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員、巡回指導教員が連携し、支援体制の充実を図る。
- ・連絡帳や定期的な面談を通して、家庭や担任との連携を重視する。
- ・1 年間での退級を目指すため、在籍学級などにおける実態把握を行い、児童一人一人の課題改善を明確にした指導を行う。